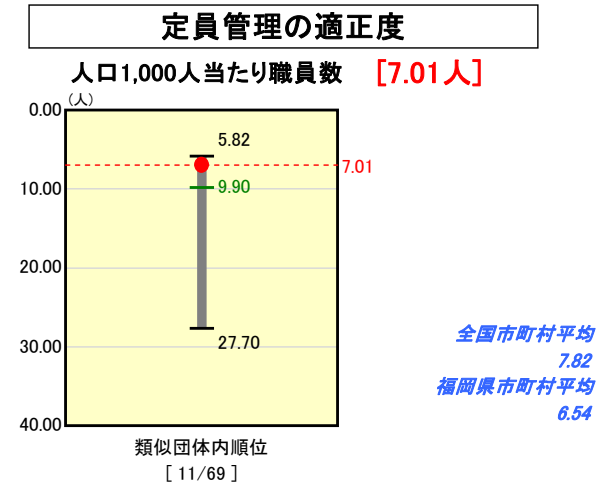
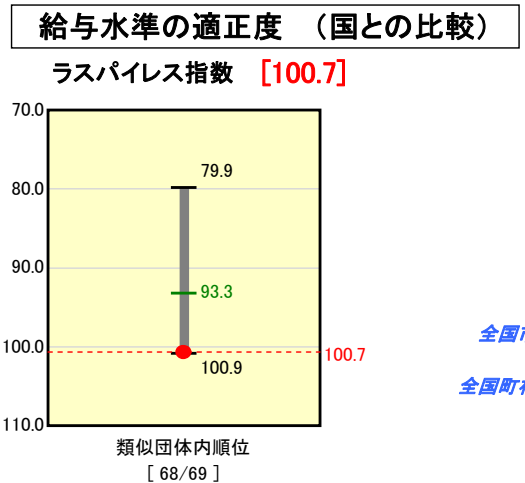
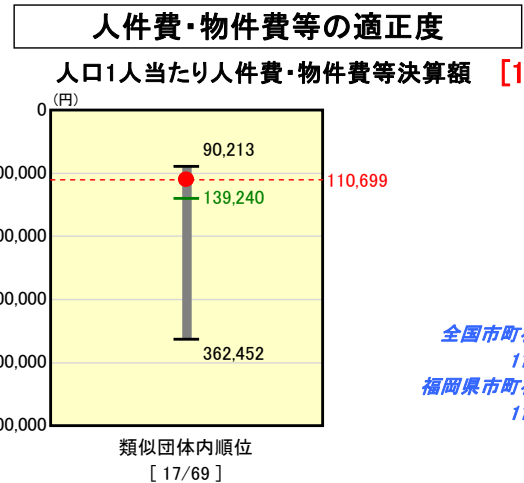
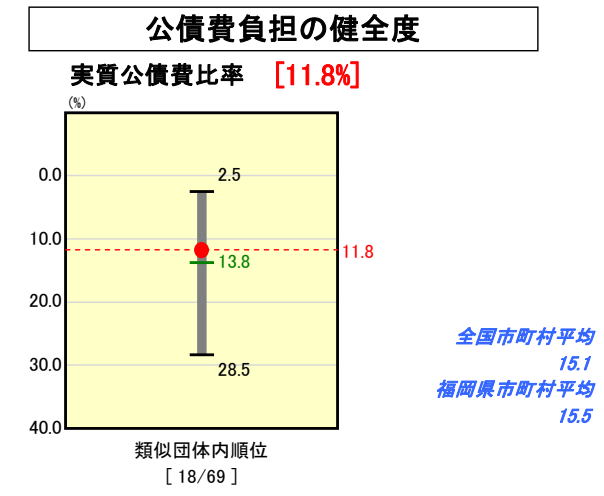
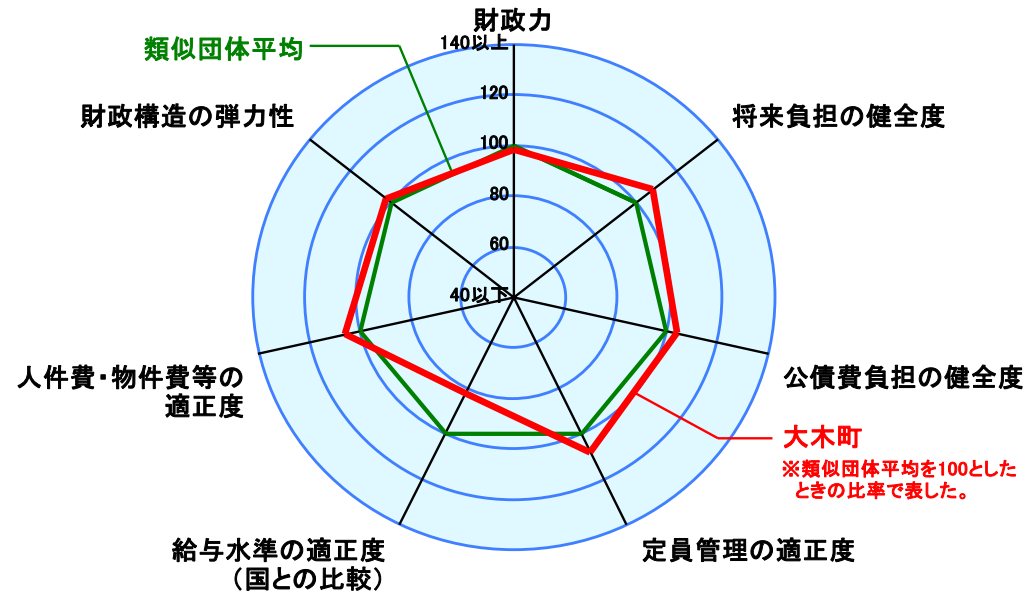
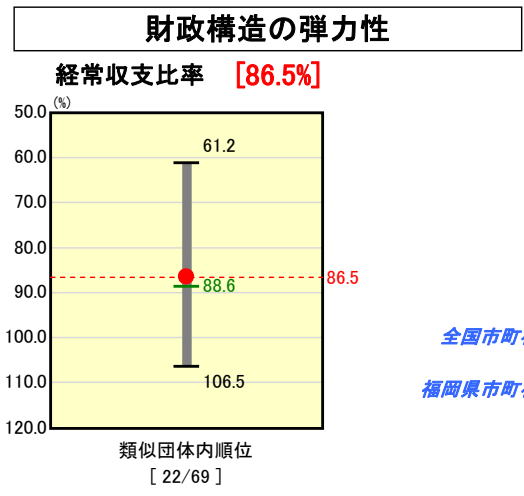
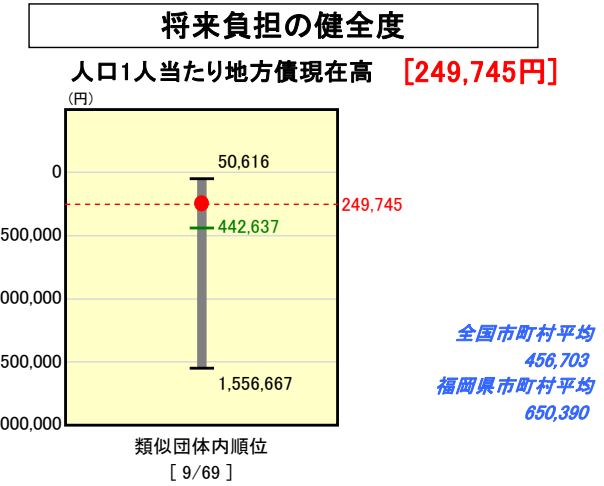
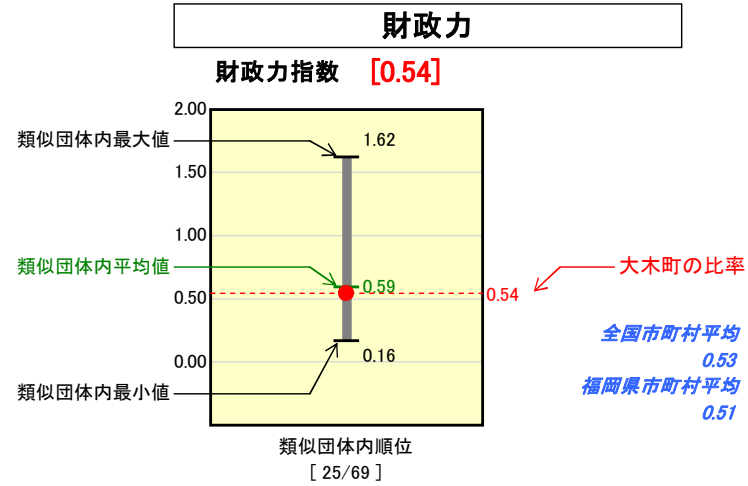


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 大木町

人口	14,554 人(H19.3.31現在)
面積	18.43 km ²
歳入総額	5,374,652 千円
歳出総額	5,222,149 千円
実質収支	131,597 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
平成13年度より6年間連続した伸びを見せているが、類似団体平均を下回る0.54となっている。平成18年度より税の徴収係を1名増員し徴収体制の強化を図ったが、今後も収納率の向上(平成17年度より5年間で町民税0.1%、固定資産税0.2%)に取り組み、税収増加等による歳入の確保に努める。

○経常収支比率
前年度より、4.1ポイント低下し類似団体平均を下回る86.5%となっているが、今後も人件費、物件費等の削減により平成21年度決算時まで85%以下を目標に経常経費の削減に努めるとともに、平成18年度より税の徴収係を1名増員し徴収体制の強化するなど、収納率の向上(平成17年度より5年間で町民税0.1%、固定資産税0.2%)に取り組み、歳入の確保に努める。

○ラスパイレース指数
各種手当の見直しなどに取り組んでいるが、昨年度より2ポイント上昇し、類似団体平均を上回る100.7となっている。今後より一層の給与の適正化に努める。

○実質公債費比率
政策・施策の優先度に基づく大型整備事業の適切な取捨選択の結果、類似団体平均を下回る11.8%となっているが、債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等の額が類似団体平均を大幅に上回るため、今後も臨時財政対策債以外の地方債発行額を元金償還額以下に抑え、公債費負担の健全化を維持する。

○人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均と比較してもかなり低いのが、今後、20年度に中学校大規模改修工事、21年度に有機資源循環施設2期事業、図書・文化等拠点施設整備事業などを予定しており、新規の地方債発行が見込まれるため、事業の選択と集中を一層図ることにより、その他の新規地方債発行の抑制に取り組む。

○人口1,000人当たり職員数
平成16年度より8名の削減により、類似団体平均を下回るが、今後も退職者不補充により、23年度までにさらに3名の削減を目標とする。

○人口1人当たり人件費・物件費等の決算額
類似団体平均を下回るが、19年度以降もごみ減量化の取組を中心とした経費の節減を徹底し、経常的な物件費の総額10%削減(17年度～21年度)を目標とする。